



ヤマハコベ	<i>Stellaria uchiyamana</i> Makino	準絶滅危惧
		ナデシコ科
選定理由	分布地の一部で個体数が減少している。	写真(岐阜県博物館) 標本
形態の特徴	茎は長く地を這い、節部から根を出し、上部は斜上し、分枝毛や星状毛があり、高さ20-30cmになる。葉はほとんど柄がなく、広卵形で先はとがり分枝毛や星状毛がある。花は少なく腋生し長さ2-4cmの花柄がある萼片は披針形、長さ4-5mm。花弁は白色、2深裂して萼より長い。蒴果は長卵形で下を向き、5裂する。	
生態的特徴	多年草で山地の林下に生える。	
分布状況	本州中部～九州に分布する。	
減少要因	本県はヤマハコベの分布の東端になる。開発などによって生育環境が減少している。	
保全対策	生育地の生育環境の保全。	
特記事項		
参考文献	北川政夫(1982)ナデシコ科. 日本の野生植物1 離弁花類. 平凡社	

文責:千藤克彦